

west breeze

Hiroshima City University

広島市立大学開学20周年特別企画

〇〇が広島未来をつくる

広島市立大学は、2014年度で開学20周年を迎えました。その間、「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」という建学の基本理念のもと、多くの学生が本学で学び、社会において活躍しています。ここでは、1期生から20期生までの20名に、「広島市の未来について」というテーマでコメントをいただきました。タイトルの「〇〇」に入るのは、本学で学んだ学生たちです。在学中、卒業後、それぞれの道で、世界平和と地域に貢献しています。

ホームカミングデーFacebookページ

2014年11月1日(土)・2日(日)開催
Facebookに「広島市立大学ホームカミングデーページ」を立ち上げました。大学祭と同時開催です。なお、11月1日(土)18時より、広島市文化交流会館で懇親会を開催します。関係者の皆さん、シェアや「いいね!」してください。

益田 智史

情報科学部1994年入学

現在私は、株式会社チャネットという学生時代に起業した会社を運営しています。大学で学んださまざまな授業や1期生としての経験が今のシステム開発の礎になっています。一人でも多くの人に喜んでいただける仕組み作りが目標です。

平尾 順平

国際学部1995年入学

現在、NPO法人として広島県全体を大学のキャンパスと見立てた、学び合いの仕組みづくりを事業提案する「ひろしまじん大学」を運営・管理しています。市大を卒業後、国際協力の仕事に就きさまざまな国を巡る中であらためて気が付いた広島の可能性に、この活動を通して少しでも寄与できたらと思っています。「広島に暮らしてよかった」と思える人や広島のことを「自分ごと」として考えられる人が一人でも増えることが今の目標です。

神酒 大亮

芸術学部1996年入学

市大にいた頃、油絵を描きつつ、映画を作っていました。東京に引っ越してからは、映像制作の経験を増しました。ある時、これからはWebの時代、どこでも誰でも映像が楽しめるのが当たり前になる。広島に住んでも、東京に住んでも関係ない。と感じました。現在、Web専門の映像制作会社ムービーインパクトの代表取締役をしています。ポーターレスなこれからは、世界的な有名人が広島在住。なんてこともどんどん増えると思っています。

福元 奈津

国際学部1998年入学

放牧酪農とチーズ工房を夫婦で営んでいます。原発事故後、福島の牧場を断念。現在、放牧地を拡張整備しながら町内に点在する耕作放棄地で牧草を育て、2頭を搾乳しています。食べる人・土地・牛の健康と幸せを尊重し、自分たちが誠実に生きるために、循環型の有機的な酪農にこだわっています。原発がもたらす歪みや犠牲を看過する社会は平和でも幸福でもない。原発と共存できない豊かさが尊重される社会を築く努力を続けたいです。

小麻野 貴之

国際学部1998年入学

現在東京でSEの仕事をしていますが、一方でカザフスタンとの国際交流に取り組んでいます。大学生の頃、留学生との交流サークルの活動を機に、核実験による被曝の歴史を持つカザフスタンの若者と交流する機会がありました。卒業後もそのつながりを生かすために国際交流グループCANVaSを立ち上げ、平和活動や文化交流を続けています。異なる価値観に触れる体験は豊かな心を育み、広島の平和文化を発信する糧になると思います。

山浦 めぐみ

芸術学部1999年入学

現在、広島市立大学芸術学部日本画専攻助教として美術教育に携わっています。伝統的な材料技法と現代芸術にも通じる空間造形概念を併せ持つ「日本画」という領域に、自分がどのような解釈を与えられるか、日々制作で模索しています。今後も広島の風土に培われた自身のアイデンティティを制作の重要な契機として広く国内外に活動の場を求めると共に、そうした研究の成果を地域の芸術文化に微力でも還元していければと考えています。

松本 明久

情報科学部2000年入学

大学院修了後にすぐ会社を起業し、名入れギフトを製作販売するネットショップ「Sana'Sana」を運営しています。店名は開店とほぼ同時に誕生した娘の名前「紗奈」からとっています。市大では情報科学部で学んだことだけでなく、芸術に触れる機会が多かったのが今の仕事につながっています。将来は広島のアーティストさんの作品制作からネット販売までをサポートするような仕組みを作りたいと考えています。

今井 みはる

芸術学部2001年入学

展覧会等の企画・運営を手がけるようになり10年近く経ちます。市大で出会った方々のお陰で、作り手と鑑賞者をつなぐ場づくりだけでなく、広島でのアートの役割やアートがさまざまな分野と接点があることを提示してきました。現在は、アートギャラリーミヤウチで学芸員をしています。今後は広島で活動されている方との関わりを積極的に行うと同時に、広島が成長を止めないよう相対的な視点で、未来に向けて見えないパーツをつくってきたいです。

奥田 透也

情報科学部2002年入学

私は現在東京でデザイナーとして活動しています。デザインやテクノロジーが人々の日常に溶け込み始めている今、さまざまな分野のスペシャリスト同士が集うことによって世の中を変えていくことが、これからのものづくりの主流になっていくはず。広島市立大学の理念はその基盤となる考え方であり、学生の皆さんが学校中の学生や先生との交流を通じて多くの仲間をつくることこそが、広島市の未来につながっていくのだと思います。

大瀬戸 悠

芸術学部2003年入学

現在、市内のホテルで広報の仕事を行っています。最近広島は、以前に増して国内外からの観光客が増えているように感じますが、迎え入れる側としての役割も、多岐にわたるのではないかと考えます。広島には2つの世界遺産の他にも、たくさんのオリジナリティ溢れる観光スポットがあるので、それらを紹介することによって、より魅力的な広島を発掘し、県民としても自信を持って自慢したくなる街にしたいです。

丸橋 光生

芸術学部2004年入学

現在母校の広島市立大学彫刻専攻でTAの仕事等しながら、作品制作と発表、広島若手芸術家が立ち上げたギャラリーの運営の手伝い等を行っています。広島での活動は、他の土地では考えたり感じる事がなかったであろう事と出会う事が多かったように思います。友人からそのような意見を聞くことがあります。これらの経験や体験は一つの糧になり、将来生み出される作品たちの中で結実していくと考えています。

石野 亜耶

情報科学部2005年入学

現在、私は、広島経済大学経済学部ビジネス情報科学科の助教として勤務しています。広島市立大学では、丁寧に根気よく指導してくださる先生、切磋琢磨できる研究室のメンバーに恵まれ、素晴らしい環境で研究に励むことができました。市立大学で学んだ研究の面白さを、次は私が学生に伝えていけるよう、学生の指導に励みたいと思います。また、学生の育成や研究を通して、広島の活性化に貢献できるような人物になることが、今後の目標です。

國光 修司

情報科学部2006年入学

現在、マツダ株式会社パワートレインシステム開発部に所属しています。次世代の車のエンジン制御を開発する部署で、コンピュータを用いた効率的な開発が必須です。その開発業務において、市大で学んだコンピュータについての幅広いスキル、論理的思考能力が生かされています。マツダでの研究・開発の結晶が広島から世界へ。地球規模で考えるクルマ創りを通じて、世界中のお客様へ走る喜びをお届けできたと実感しています。

深尾 尚吾

国際学部2007年入学

市大で学んだ2010年の夏、平和記念日に国内外からのキャンパーを迎えるキャンプサイト「Hiroshima Peace Camp」の代表を務めました。そこで出会ったのは、海外から広島を見る目や広島に魅せる思い。「広島」で学ぶ意義を日々痛感させられつつ、自らの意見を常に持ち続けることに邁進した学生時代でした。現在は、大阪でマーケティングリサーチャーとして幅広い業界と携わっていますが、これからも市大で学んだことを生かし、「Hiroshima」を伝えていきたいです。

今井 愛

国際学部2008年入学

私は現在長崎の店舗に勤めており、目標としては東南アジアなど途上国での店舗運営を行いたいと考え勉強の日々を送っています。大学院で学んださまざまな観点から見た平和のあり方を仕事で生かし、当たり前に着る「服」を通してより多くの人々に幸せになっていただくこと、現地の人々と一緒にビジネスを行い経済活動の活性化に貢献できるような人材になりたいと考えています。

西本 淳一郎

国際学部2009年入学

広島大学大学院教育学研究科で日本語教育を専修する傍ら、市大で始めたアラビア語学習を継続しています。現在、広島でアラビア語が見られるのは広島平和記念資料館の館内にある解説とスーパーのレジにある両替禁止の訳くらいです。まだアラビア語圏からの訪問者は少ないものと思いますが、現地の広島の知名度は格別です。広島で生まれ育ち、学んだ者として、故郷に興味を持ってくれる日本語学習者を増やしていければと思います。

佐藤 恵

芸術学部2010年入学

私は卒業制作の取材を通して広島の生の想いに触れ、それを漫画に描く機会をいただきました。被爆体験を持つ人が少なくなる中、文書や記録では伝えきれない「想い」を伝えていくにはどうすれば良いか?これは今後の広島にととの大きな課題です。そして、生の想いに触れることができるのは今だけです。私たちにできるのは、まずそれに触れてみようという関心を持つことではないでしょうか。

岡本 はづき

国際学部2011年入学

昨年私はバレスチナでインターンをしていました。そこで多くの素敵な人に出会い、今では第二の故郷のようです。そんなバレスチナは停戦状態にあり、いつ情勢が変化するかは不明です。そこで感じたのは、現在在学中でも数年後は違うかもしれないということ。日本も同じです。当たり前な今を大切に、そして未来に向け行動し、時には変えていくべきなのです。「幸せな今」は私たちがつくるものかもしれません。

小田 真理子

国際学部2012年入学

現在、国際政治や平和について学んでいます。今年の3月には、グローバル・シビック・プロジェクトの一環としてマーシャル諸島で行われたワークショップとビギン60周年の記念式典に参加し、広島とマーシャル諸島のつながりを初めて感じることができました。また、核による被害を受けた地域の若者が集まって連携を図ることに大きな可能性を感じたので、これからも相互理解の架け橋としての役割を果たしていきたいと思っています。

梁谷 侑未

芸術学部2013年入学

現在、大学で彫刻を学んでいます。私は生まれつきの聴覚障害があり、手話で育ってきたので、小さい時から「障害」「言葉」「五感」について考えられる経験を積んできました。これらを生かして、いつか障害の有無に関係なく楽しんで感動してもらえる作品を作り、広島の皆さんにご覧いただきたいと思っています。また障害者と健常者の橋渡しになれるように頑張っています。

WB

west breeze

広島市立大学広報誌WEST BREEZE
1995年創刊

市大年表(沿革)

広島市立大学の沿革について、開学前から現在に至るまでの歴史を振り返ります。

1978年5月

広島市新基本計画で「本市の学術文化の向上発展に寄与する特色ある国立単科大学(美術工芸大学、外国語大学)などの誘致を促進する」旨の施策展開掲げる

1985年3月

「広島都市圏の高次教育(研究)機能整備構想調査」において「広島国際情報工科大学(仮称)の整備」という基本的方向を示す

1988年3月

「広島国際情報工科大学(仮称)整備検討調査」において、設置主体は広島市、「国際」「情報」「芸術」の3学部構成とし、設置場所は広島西部丘陵部都市(※現在の「西風新都」)が最適であるとの方向を示す

1989年5月

第3次広島市基本計画策定。広島市立大学(仮称)の設立を「21世紀に向けての主導的構想」として位置付ける

1989年11月

広島市立大学(仮称)設立準備委員会の設置

1991年7月

「広島市立大学(仮称)基本構想」策定

1994年4月

開学。初代学長に田中隆荘氏就任。第1期生383名を迎える

1996年10月

講堂完成

1998年4月

*田中隆荘学長再任
*大学院修士課程開設。第1期生145名を迎える
*広島平和研究所開設

2000年3月

情報科学部棟別館完成

2000年4月

*第2代学長に藤本黎時氏就任
*大学院博士後期課程開設。第1期生38名を迎える

2003年4月

*産学官連携推進室を設置
*情報科学部情報数理工学、大学院情報科学研究科情報数理工学専攻を、それぞれ情報メディア工学科、情報メディア工学専攻に名称変更

2006年4月

第3代学長に浅田尚紀氏就任

2007年4月

*情報科学部の教員を大学院情報科学研究科所属とする
*教員の職名を変更。助教授を准教授に、助手を助教とする
*情報科学部を情報メディア工学科、情報工学科、知能情報システム工学科、情報機械システム工学科の4学科から情報工学科、知能工学科、システム工学科の3学科に再編(2007年度入学生より)
*大学院情報科学研究科博士前期課程を情報メディア工学専攻、情報工学専攻、知能情報システム工学専攻、情報機械システム工学専攻から情報工学専攻、知能工学専攻、システム工学専攻、創造科学専攻に再編(2007年度入学生より)

2007年7月

社会連携センターを設置

2010年4月

*公立大学法人広島市立大学設立
*初代理事長(学長)に浅田尚紀氏就任

2012年4月

情報科学部を情報工学科、知能工学科、システム工学科の3学科から情報工学科、知能工学科、システム工学科、医用情報科学科の4学科に再編(2012年度入学生より)

2013年4月

*第2代理事長(第4代学長)に青木信之氏就任
*大学院芸術学研究科博士前期課程を絵画専攻、彫刻専攻、造形計画専攻の3専攻から、造形芸術専攻の1専攻に再編(2013年度入学生より)
*国際交流推進センターを設置

2013年10月

サテライトキャンパスを開設

2014年4月

*キャリアセンターを設置
*開学20周年を迎える

広島市立大学が
広島市の未来をつくる

詳しくはこちら▶

WB

th

3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

「活躍する市大人」が、広島の未来をつくる ～広島市立大学で学んだ学生は今～

NHK広島放送局 報道番組ディレクター

花井 利彦 さん 〈国際学部国際学科1998年度卒業生〉

(1) 現在の活動について教えてください。

NHKで、企画から取材・撮影・編集まで、番組制作の最初から最後まで関わるディレクターをしています。初任地の沖縄から東京を経て2012年夏、13年ぶりに広島に戻ってきました。学生時代に培った英語力を生かした海外ロケは、12カ国・20回に及びます。最新作は、2014年3月に全国放送したNHKスペシャル「里海 SATOUMI 瀬戸内海」。瀬死と呼ばれた海が、人の手が加わることで劇的な復活を遂げつつあるという内容です。



「世界一のサッカー選手」リオネル・ messi に取材（バレーソナ）にて。一番左が花井さん。

(2) 広島市立大学で学んだことで、今に生きていることはどのようなことですか？

「好奇心を常に持ち、悩んだら、まずはチャレンジしてみる大切さ」です。市立大学には、若くて勢いがある先生が多く、非常に刺激的な日々を過ごしました。授業中、疑問があれば質問するのはもちろん、国際シンポジウムのような大きな舞台でも、自然と必ず手を挙げ、発言していました。市大卒業後、アメリカの大学院でジャーナリズムを学ぶことを決意したのも、失敗を怖がらない自由闊達な学風があったからだと思います。

(3) 「これから」の活動と展望についてお聞かせください。

少しでも世の中に貢献できるような番組を作り続けたいです。今年8月6日に放送する「NHKスペシャル」では、60年前の知られざる「日本人大量被ばく」の真実に迫ります。現在、広島平和研究所の高橋博子先生の力も借りながら日米で取材を進めています。また、被爆70周年の来年は、「核兵器禁止条約」を巡る核保有国と非核保有国の攻防を描く番組を制作する予定です。ぜひ、ご期待ください！

株式会社サンフレッチェ広島 事業本部運営部

川畑 直毅 さん 〈国際学部国際学科2007年度卒業生〉

(1) 現在の活動について教えてください。

プロサッカークラブ・サンフレッチェ広島のフロントスタッフとして、チケット팅とファンティベロップメントに携わっています。主に、チケットの販売管理・動員企画・試合会場の入場管理を担当しています。

(2) 広島市立大学で学んだことで、今に生きていることはどのようなことですか？

ゼミの指導教官だった曾根教授のご紹介で、広島東洋カープの遠征試合に帯同させていただいたことや、現在の職場であるサンフレッチェ広島と当時JFL（現J3）のガイナーレ鳥取でそれぞれインターンシップを受けさせていただいたことで、プロスポーツチームが試合を戦うために、その周辺にはさまざまな関わり方の「仕事」があることを知りました。そのように、学内だけでなく外へ出て、興味関心のある世界の現場を経験できたことで、「将来自分は絶対にこの世界に進む」という目標がはっきりしましたし、その当時の熱い気持ちはこれからもずっと忘れずに持ち続けていたいと思っています。

(3) 「これから」の活動と展望についてお聞かせください。

2012年・2013年と、皆さまのご声援でリーグ連覇を達成することができました。私も含め、観る人の心をあんなにも熱く揺動かすことができるチームを心から誇りに思いますし、これからはそんなサンフレッチェをもっとたくさんの方に知っていただき、スタジアムでの感動・興奮を共に分かち合う輪を拡げていきたいと思います。そのために、これまで試合を観戦したことがない方にも「サンフレッチェっていいね!」と思っていただいて、スタジアムへ足を運んでいただけるような企画をどんどん考えてチャレンジしていきたいです。そして今年は夢の「Jリーグ3連覇」を達成して、再び皆さまと歡びを分かち合えるよう、全力でがんばります！



右から2人目が、オバマ政権の核軍縮政策に助言する「4賢人」の一人、ウィリアム・ペリー元国防長官。「被爆国・日本は、今こそ核廃絶運動の先頭に立ててほしい」と力強く語った。（スタンフォード大学にて。一番左が花井さん）

広島市立大学で学んだ学生たちは、卒業後、国内外の数多くの分野において活躍しています。そこで、地域や世界をフィールドにして活動を行っている卒業生から、「過去・現在・未来」に関する3つの質問に回答を寄せていただきました。

富士通株式会社
次世代テクニカルコンピューティング開発本部 言語開発統括部

中村 朋健 さん

〈情報科学研究科（博士後期課程）情報科学専攻2006年度修了生〉

(1) 現在の活動について教えてください。

2013年3月まで3年間、理化学研究所に Outreach 京速コンピュータ「京」で利用する並列言語や開発環境に関する研究開発に携わっていました。現在は富士通株式会社で、お客様に対して最適な High Performance Computing (HPC) ソリューションを提供するために、競合製品を凌駕する HPC 製品の開発を目指しています。その中でエクサスケール（1秒間に1,000,000,000,000,000,000回の計算が可能な規模）のスーパーコンピュータ（スパコン）で用いる性能解析ツールの開発を担当しています。このツールはスパコンの資源や特性を生かした効率のよいプログラムを作成するときに役立つ重要なソフトウェアです。

(2) 広島市立大学で学んだことで、今に生きていることはどのようなことですか？

広島市立大学で多くのことを学びましたが、知らない領域のことも、興味を持って続けることで最先端のことも自分のものになることを実感できたことが大きかったと思います。大学・大学院ではデータマイニングという私にとっては知らない領域の研究をすることになりましたが、大学4年生からの6年間で最先端のことを博士論文にまとめることができました。現在の仕事では最先端のエクサスケールのスパコンなどで使うツールの開発ですが、自信を持って立ち向かえる力となっています。

(3) 「これから」の活動と展望についてお聞かせください。

2020年頃に京速コンピュータ「京」の100倍規模の演算性能を持つエクサスケールのスパコンが出てくると思いますが、そのようなスパコン上でも性能解析しやすいツールを目指して開発していきたいと思っています。

アーティスト 岩崎 貴宏 さん

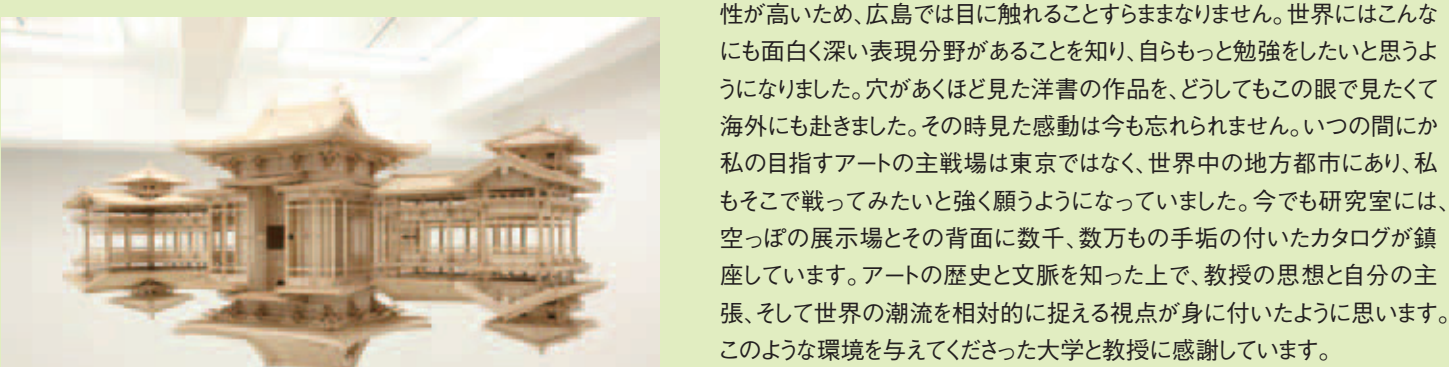
〈芸術学研究科（博士後期課程）総合造形芸術専攻2002年度修了生〉

(1) 現在の活動について教えてください。

現在、作家としてイタリアのトレント・ロヴェレート近現代美術館で「Lost in Landscape」、中国・深圳の OCT Contemporary Art Terminal で「深圳彫刻ビエンナーレ」、広島市現代美術館で「スリーピング・ビューティー」、福島のはじまりの美術館の開館展に参加しています。6月24日からはニューヨークの Friedman Benda Gallery でグループ展に参加予定です。

(2) 広島市立大学で学んだことで、今に生きていることはどのようなことですか？

発足当初の空っぽの研究室に、澤澤教授は国内外のアートカタログを大量に購入されました。東京や海外まで買い付けに行ってくれたり、学生の要望も聞いてくれたりもしました。アートの洋書は高額の上、専門



REFLECTION MODEL (Perfect Bliss)
Photo: Kioku Keizo
Courtesy of the artist and ARATANIURANO

(3) 「これから」の活動と展望についてお聞かせください。

広島にベースを置きつつ、スーツケース一つで、世界の地方都市に赴いて制作、発表し続ける一方で、時間をかけた制作もできればと考えています。

「広島の未来をつくる」ために。 ～「これから」の話をしよう～

2014年度、広島市立大学は開学20周年を迎えました。そこで、20周年記念事業のコンセプトである「広島の未来をつくる」について、青木理事長兼学長にお話を伺いました。



「『広島の未来をつくる』ために、広島市立大学が現在担っている役割について、お聞かせください。

本学は1994年（平成6年）に開学し、これまでに6,440名の学部卒業生と1,922名の大学院修了生を輩出しています。学部入学者の分布を見ると、学部によって少し差がありますが、全体で見ると約60%もの入学者が広島県内・市内の出身者であるわけです。そして就職の分布をみると、今では約42%もの卒業生が県内・市内に就職している。このことからわかるように、公立大学に求められる教育的役割、つまり地域の優秀な学生を受け入れ、育て、そして地域へ還元するという役割をかなり立派に果たしてきていると言えるかと思います。

また研究についてもさまざまな実績を重ねてきていますが、高齢者の健康管理を遠隔で行える「みみスイッチ」の開発など、広島発で今後世界的に活用される技術や、被爆者やその子孫を描く「光の肖像」制作など、国際平和と文化都市という広島市の都市像に沿った研究プロジェクトなどを行ってきています。

社会貢献についても、社会人講座の一つである「英語のラーニング講座」では、これまでに約3,500名もの市民の皆さんが受講されていますし、最近のものを挙げれば、高齢化が進む地区を活性化させようとする基町フェニックスアートプロジェクトがあります。

このように、広島市立大学は広島市の高等教育機関として、都市機能の一部であるとともに、他の都市機能の強化充実に役立ってきたと信じています。

一「広島の未来をつくる」ために、広島市立大学が「これから」果たしていく役割について、理事長の考えをお聞かせください。

「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」という建学の基本理念に沿って、大学を発展させていくことが、「広島の未来をつくる」ことにつながると考えています。この基本理念には、国際・情報・芸術・平和というように本学の特色がすべて入っていますが、今後はこれらの分野に、横糸としての世界と地域という視点を強化し、さらに特色ある教育・研究を紡いでいきたいと考えています。例えば、学生には留学を通じてグローバルな視点を持つと同時に、一方で地域の課題に向き合うなど、鋭い問題意識と問題解決に役立てることのできる知識、スキル、人間力を磨くことができるような教育をしていきたいと考えています。

また1945年8月6日以降、歴史上、そして世界の中で特別な意味を持つこととなった広島市が設置した大学として、そのアイデンティティをしっかりと学生に伝えていきたいと思っています。社会に対する使命感、行動する意欲、抛り所とする専門的知識を持った学生を育て、地域や社会に還していく。未来をつくるということにおいて、もっとも重要なことは人を育てることですから、広島市立大学にしかできない人材を輩出したい。そして、本学が広島市にあることを市民の皆さんが誇りとしてくださるような、そんな大学にしていきたいと思っています。

歴代学長メッセージ



広島市立大学第2代学長

藤本 黎時

広島市立大学開学20周年を心からお祝い申し上げます。

本学は、平成6年（1994年）、科学技術の目覚ましい進展と国際化の潮流の中で、教育・研究成果の高度で多様化する価値観に対応し得る研究者や専門職業人の育成を目指して、ユニークな3学部構成の大学として誕生しました。その後、年次進行にしたがって3研究科、1研究所が設置され、所期の目的を果たしつつ今日の姿にまで成長し発展してきたことは、設立準備の段階から参加した者の一人として、本当に嬉しいことです。

大学は地域社会に経済効果をもたらすことが期待されますが、高等教育機関としての人材育成の役目に加えてシンク・タンクとして社会に貢献する役目も担っています。本学は、この20年間に、8千数百余名の卒業生、修了生を輩出し、その役目を果たしてきました。今や社会の中堅として活躍し、期待されている卒業生たちも多くいることでしょう。新聞やテレビの報道を通して、本学の卒業生、修了生や在学生たちがさまざまな分野で活躍している様子を知り、本学の実在感をいっそう感じることも、本学の人材育成の成果と社会への貢献を心から誇りに思っています。

また、核兵器の廃絶と世界平和を目指す国際平和と文化都市の大学として、平和研究所の担ってきた役目は大変重く、研究と実践を通して世界恒久平和と実現に貢献することでますます存在感を発揮されることを期待しています。



広島市立大学第3代学長

浅田 尚紀

広島市立大学が開学20周年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

私は開学2年目の1995年4月に情報科学部教授として着任し、2013年3月まで18年間在職しました。着任当時は学生が2年次までしかおらず校舎も一部建設中という大学としては未完成の状態でしたが、教職員だけでなく学生にも自分たちの手で大学を創って入っていますが、今後はこれらの分野に、横糸としての世界と地域という視点を強化し、さらに特色ある教育・研究を紡いでいきたいと考えています。例えば、学生には留学を通じてグローバルな視点を持つと同時に、一方で地域の課題に向き合うなど、鋭い問題意識と問題解決に役立てることのできる知識、スキル、人間力を磨くことができるような教育をしていきたいと考えています。

また1945年8月6日以降、歴史上、そして世界の中で特別な意味を持つこととなった広島市が設置した大学として、そのアイデンティティをしっかりと学生に伝えていきたいと思っています。社会に対する使命感、行動する意欲、抛り所とする専門的知識を持った学生を育て、地域や社会に還していく。未来をつくるということにおいて、もっとも重要なことは人を育てることですから、広島市立大学にしかできない人材を輩出したい。そして、本学が広島市にあることを市民の皆さんが誇りとしてくださるような、そんな大学にしていきたいと思っています。

広島市立大学 開学20周年記念事業一覧

開学20周年を迎えるに当たり、この記念すべき節目の年を、大学構成員および関係者と祝うとともに、過去を振り返り、未来に向けたメッセージを発信するため、「広島市立大学が 広島の未来をつくる」を基本コンセプトとして各種記念事業を実施します。主な事業については次の通りです。

実施主体	事業の名称	内容等	実施予定時期
全学	記念式典・記念講演・祝賀会	開学記念日に記念式典・記念講演・祝賀会を実施。会場はリーガロイヤルホテル広島	2014年 6月14日（土）
全学	全学合同シンポジウム	「ヒロシマの記憶を未来へ（仮題）」をテーマにシンポジウムを開催。会場は広島市立大学講堂大ホール	2014年 11月1日（土）
全学	ホームカミングデー	本学初のホームカミングデーを実施。大学祭と同時開催。なお、1日（土）には、広島市文化交流会館で懇親会を開催	2014年 11月1日（土）・2日（日）
全学	記念誌の発行	本学の歴史やこれまでの取り組み等をまとめた記念冊子を発行。また、各種記念事業の開催実績等を掲載した記録冊子を平成2015年度に発行予定	2014年 10月 発行予定
全学	学生平和論文コンテスト	本学の開学20周年および来年の広島市の被爆70周年を記念して、平和に関する学生論文を公募	2014年 6月（論文募集）～11月（結果発表）
附属図書館	図書館リニューアル記念事業	ラーニング commons 開室を記念したビブリオバトルと、図書館新システム稼働を記念した新システム発表会を実施	2014年 10月
附属図書館	資料展「附属図書館の20年一館報『知恵の樹』1～61号を中心に」	館報を中心に附属図書館の20年間の主な出来事をたどる展示を実施	2014年 5月27日（火）～7月18日（金）
附属図書館	資料展「いちだいの20年一市大関係の出版物、研究成果から」	所蔵資料として蓄積した本学関係の刊行物以降は個性化、特色化がより一層進展しつつあると感じています。今後とも広島市が創った唯一の大学として「知の継承（教育）」「知の創造（研究）」で存在感を増すとともに「知の活用（地域貢献）」で個性を発揮されることを期待しています。	2014年 10月
芸術資料館	芸術展示「収蔵作品大公開展」	収蔵作品から20点程度を選抜した展示を実施	2014年 6月13日（金）～26日（木）
芸術資料館	芸術展示「活躍する卒業生未来をつくる」	卒業生で、現在活躍する人材をピックアップし、作品展示を実施	2014年 10月

なお、例年開催しているイベントや、例年発行している各種刊行物も、今年度は記念事業の一環として実施・作成します。

ところで、第3代学長として広島市立大学に黒御影石のベンチを寄贈することが決まりました。開学20周年記念式典のタイミングでお披露目する運びとなり、大変嬉しく思っています。学生や教職員はもとより市民の皆様にも末永くご利用いただけることを願っています。

【開学20周年記念ウェブサイト】
<http://www.20th.hiroshima-cu.ac.jp/>

お祝いメッセージ

学生生活を縁の下でサポートしてきた学内（学生会館）の各店舗から、お祝いメッセージをいただきました。

有限会社 カレッジサロンピアロット

開学20周年をお慶び申し上げます。この20年、学内売店として教職員の皆様や学生様のご支援とご協力を賜りつつ学ばせていただき、心より感謝申し上げます。昨今、地域貢献の一環として、障害者の方の通所施設の商品や「赤い羽根の水」の販売、ペットボトルのキャップ収集を行っておりますが、皆様の温かいご協力をいただきお礼申し上げます。今後とも商品購入のみならず、リフレッシュの場としてご利用いただきたく存じます。広島市立大学様が、密度の濃い教育の場として更なるご発展をされまよう、心よりお祈り申し上げます。



一般財団法人学校福祉協会 広島市立大学食堂

この度は広島市立大学様が開学20周年の節目を迎えられたこと、心よりお祝いを申し上げます。1994年4月、まだ学生会館周辺の桜の木も低かった頃、私たち学生食堂と喫茶もオープンし同じく20年を迎えます。自然がとてども近く開いたないキャンパスのイメージ通り、学生の皆さんはのびのびと学生生活を送られ、スタッフはご利用くださる皆さんの成長を楽しみ、卒業の時期には嬉しさを感じています。これからも学内サービスの担い手として、学生さんのお腹を満たすために、安価でボリュームを付けた手作り料理の提供を続け、広島市立大学様の30周年、40周年へのもますますのご発展とご繁栄に協力させていただきたいと考えております。



株式会社紀伊國屋書店 広島市立大学ブックセンター

このたびは大学創立20周年おめでとうございます。ブックセンターは大学創立より1年後の平成7年4月7日、学生会館の2階にオープンしました。わずかに10坪足らずの小さな書店ですが、市立大学の学生、教職員の皆さんにご愛顧いただいています。活字離れが叫ばれて久しい昨今ですが、毎日大勢の学生の皆さんにご来店いただき、常連さんも多数いらっしゃいます。馴染みの学生さんや研究熱心な先生方との会話がヒントを頂くことも多いです。皆さまのニーズに沿えるよう、常に新しい情報も発信しております。最近ツイッターも始めました。アドレス https://twitter.com/Kino_ichidai_bc です。ぜひフォローしてください。



有限会社 ビカソ画廊

このたびは、開学20周年を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。芸術学部を有する大学の画材専門売店として営業させていただき、幸せに思っております。弊店としても、20年の期間を思うと、さまざまな思い出がよみがえってきますが、最近、この学校を卒業された方々の活躍も増えて、美術雑誌等でその姿を見ることもうれしいニュースの一つです。小さな売店ですが、学内のあらゆる方に便利に利用していただきたいという気持ちで大切に、これからも広島市立大学がますます幅広い学業の場として発展されるよう、お手伝いさせていただきます。

